

金蘭会120周年記念事業

■120周年記念行事概観	1	■中校副校長選挙・選考プログラム	5	■組員	9	■会員からのお便り	15
■会報ご挨拶	2	■会報報告書	6	■新理事・評議員	10	■金蘭会常見クイズのお返め	16
■校長ご挨拶	2	■非会員・自治会入会のご案内	6	■委員会(1)組員行事名簿(母校交流)	11	■お祝い金返込者一覧	16
■母の便り	3	■卒業・決意報告書	7	■学年会だより	12		
■クラブ便り	4	■金蘭会ホールご案内	8	■安部この1年	13		

百二十周年記念式典。総会盛會裡に終わる

金蘭会創立百二十周年記念式典・総会(懇親会)は、昨年十月十六日、リーガロイヤルホテルで約五百名の参加を得て盛大に挙行されました。
また、百二十周年を記念して、さまざまな事業が実施されました。

記念式典に先立って会場が 校長先生に手渡され、既に生隣室では、物故者慰霊として、徒が授業で使い役立っている旨の御礼がありました。最後に、約五六〇〇名の方々の名簿が 金蘭会発展に功績のあった十名の方々に感謝状が贈呈されました。



第1部の総会(懇親会)では、三年前にNHK紅白歌合戦出場の実績がある木山裕葉氏(S62卒)のトークと熱唱、鏡割り・乾杯などがあり、しばし歓談の後、母校吹奏楽部の演奏とパフォーマンスで会場は盛り上がりました。最後は校歌斉唱、全員が起立して力強く歌いました。

記念式典では、金蘭会会長の挨拶、母校校長先生の祝辞の後、母校への記念贈呈として「金蘭会館」に工事を移して三二学年会(二次レベーター設置・贈呈)の目録(会)を楽しみました。



その他の百二十周年記念事業として、記念誌「金蘭百二十年のあゆみ」(母校空撮写真をプリントしたクリアファイルとともに配付・販売)、記念の「金蘭会会員名簿」(刊行をいたしました。(会員に販売))



功労者表彰の皆様 (敬称略)・理事大会関係

- 野田 定(S24卒)
- 川上 修司(S26卒)
- 村上 白士(S26卒)
- 徳光 清子(S14卒)
- 米田 玲子(S21卒)
- 山田 久栄(S22卒)
- 増田 真圓(S26卒)
- 勝部 慶次(S27卒)
- ・金蘭会セミナー関係
- 岩田 和歌子(S16卒)
- 島崎 優文子(S21高卒)
- 岸田 政子(S28卒)
- 金田 昭子(S29卒)
- ・パソコンスクール関係
- 乾 美代子(S30卒)
- 町田 賢二(S34卒)

皆様のおかげで、昭和から平成までの卒業生・在校生が一堂に会し、笑顔溢れる集いとなりました。参加くださいました皆様にお礼申し上げますとともに、準備に知恵や力をお出しくださった各担当の方々に、深く感謝申し上げます。

記念式典・総会(懇親会)委員長
留井恵子(S39卒)

会長ご挨拶



会長 橋 興二郎
(S34卒)

本年四月の評議員会・理事会で、私は会長に再選されました。同時に、副会長の選出も行われ、新しく岩田和歌子(S16卒)、石田良一(S39卒)の両氏が選ばれました。岩田副会長は金蘭会セミナーに十年間啓蒙のベテランであり、石田副会長は若

手のホープであります。ともども精一杯務めさせていただきますと覚悟を新たにしておりますので、よろしくお願い申しあげます。

また、このたび副会長を退任されました米田玲子、上川庄二郎両氏には、永年にわたり金蘭会の発展に積極的に貢献くださいました。厚く御礼申しあげます。

三年前、初めて会長に選出されたとき、私は次の三つを金蘭会運営の基本としていと申しあげました。第一は、金蘭会は会員相互の親睦・向上を図るとともに母校支援を目的とする組織であり、これを原点とするということであり、第二は、金蘭会は開かれた組織であり、明るく楽

しい団体であるべきだということから、情報公開に努めるとともに、何でもモノの言える雰囲気づくりを目指すということであり、第三は、金蘭会は会員の年齢差が最大で八十歳を超える組織であります。その中であつて日本古来の美德・長幼の序を大切にすることであり、

今後の三年間もこの考え方を常に念頭に置いて精力を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、昨年は金蘭会創立百二十周年という記念すべき年であり、さまざまな記念行事を実施しました。母校支援事業としては、金蘭会館にエレベーターを設置し母校に寄贈いたしました。会員の皆様から

は多大の協賛金を賜りました。誠にありがとうございました。そのほか記念式典、総会、記念クルーズ、記念誌刊行、記念会員名簿刊行、会員表彰、物故者慰霊など、多彩な行事を執り行いました。ご参加の皆様、お世話くださいました皆様に深く感謝申しあげます。

本年は、金蘭会の主催事業である金蘭会セミナー・パソコンスクールや各種の同好会活動、各支部の行事に加えて、晩秋に瀬戸内海の島々を「らぼん丸」で巡るクルーズも企画しております。会員の皆様には、参加して楽しい、会員であることに誇りを感じる金蘭会づくりのために「協力くださいませう、よろしくお願い申しあげます。

校長ご挨拶



校長 山 和之
栗

金蘭会会員の皆様には、常日頃から本校の教育活動に対しまして、様々な形でご支援をいただいていることにつきまして、心から感謝申しあげます。

江戸時代の学者である渡辺華山のことばに「眼前の繰回しに百年の計を忘るなかれ」があります。大手前高校は、眼前の繰回しに力を注ぎながら、百年の計を忘れることなく、大阪屈指の伝統校として、百二十六年間にわたり、あまたの人材を輩出してまいりました。

最近の歩みとしましては、平成五年に理科科が設置され、理数教育にも力が注がれてまいりました。その成果もあり、平成二十年度には文部科学省から、スーパーサイエンスハイスクールに指定され、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数系教育の充実にも日々取り組んでおります。そして、数多くの輝かしい実績を積みあげている毎日であり、

また、昨年度からは大阪府の進路指導特色校（豊かな感性と幅広い教養を身に付けた、社会に貢献する志を持つ、知識基盤社会をリードする人材を育成することを目的とした十校）にも指定され、益々の充実を図っております。

現在の三年生の理数科・普通科、一・二年生の文理学科・普通科、合わせて二〇八二名の生徒たちは、日々、共に学び、明るく楽しい大手前校生活を送っております。学校行事や部活動などでの彼らの活躍は、ホームページなどでも見ていただいている通りであります。

さて、今春から、「つよき信念（まこと）とたかき理想（のぞみ）」に加えて、「英姿颯爽」を新しく学校のスローガンといたしました。立ち居振る舞いが爽やかで凛々しく、生き生きとした活力に溢れ、勉学・クラス活動・部活動・自治会活動など何事においても、常に前向きな大手前高校生を育てていきたい、育ってほしいという学校の思いからであります。そのため、教職員一同が全力で取り組んでおりますので、今後とも安橋興二郎会長のもと益々発展される金蘭会のご支援とご協力をお願い申しあげます。



母校便り

文化講演会

第十八回金蘭会母校支援文化行事

●●● 演劇鑑賞 ●●●

金蘭会よりご支援をいただいている文化行事は、平成二十三年度は演劇鑑賞でした。平成二十三年十月二十七日(木)、劇団わらび座によるミュージカル「アテルイ―北の羅星」を全校生徒が門真市民文化会館ルミネールホールで鑑賞しました。

東北でのどかに暮らす蝦夷に対して、黄金を求め大和朝廷は、蝦夷を「まつろわぬ民」として制圧を企て、そのことからミュージカルが始まります。度重なる侵攻に、蝦夷は人間の誇りをかけて立ち上がり、その若きリーダーがアテルイでした。アテルイと坂上田村麻呂とが幼なじみだったというのは演劇上の設定ですが、やがて征夷大將軍となった田村麻呂とアテルイは対決する宿命を負うように描かれています。

アテルイは現在の岩手県胆沢地方に実在した人物であり、胆沢の合戦はアテルイの陽動作戦が成功し、蝦夷側の勝利に終わります。大敗した朝廷軍は再び胆沢攻撃を準備し始め、このとき征夷大將軍に任命されたのが坂上田村麻呂でした。朝廷の攻撃を受けて損害を受けた蝦夷側は、延暦二十年(八〇二)年、征夷大將軍に任命された田村麻呂に大敗します。戦いを続けても民が苦しむだけであり、これ以上の犠牲を出さないためにアテルイと副将のモレは、その翌年、生命の保証は約束するとして田村麻呂の勧告に応じて投降します。田村麻呂はアテルイの武器と器量を、戦後の余糧を取るのに活用したいと朝廷に嘆願しますが、朝廷はその願いを退け、アテルイとモレを斬首しました。

一時間五分に及ぶミュージカルでしたが、大半の人は時間の経つのも忘れ、俳優さんたちの歌に聞き惚れていました。また、躍動感あふれる迫真の演技や太鼓の響きに圧倒されてもいました。われわれは

とかく歴史というものを中央の視点から捉えがちですが、蝦夷のため東北のために生きたアテルイに焦点を当てた今回の演劇を見たことで、地方の立場から見る大切さも学べたのではないのでしょうか。

終演後に行われた交流会には、アテルイを演じた戎本みろさんを囲んで二十数名の生徒が参加しました。演劇部の部長の司会のもと、生徒たちの質問に戎本さんが答えるという形で交流会が進みました。俳優になつたさうかや、この作品にかける思い、アテルイ役を演じる難しさや工夫など、さまざまな質問に戎本さんは丁寧に誠実に答えておられました。俳優さんと直接、話を交わすことができたという点で、参加した生徒たちにとっては、得難い貴重な経験になったに違いありません。

「生徒の感想」

○「坂上田村麻呂は征夷大將軍になり、蝦夷征討に大功を立てた」と教科書では二文になつてしまふけれど、裏にはこれほど壮絶なドラマがあったとは知らず、瞬きするのを忘れるくらい見入った。僕はアテルイの「他の人を傷つけず、自分の力で何とかしたい」という思いに共感したが、もし、同じ立場に立つたとしても、アテルイほど行動は起こせなかつたと思う。仲間をなくし、相手が幼なじみでも、必死で向かっていくアテルイの姿を、歴史上の人物ながらも見習わなければならぬと思った。それにしては日本史にはアテルイのように教科書では二文で終わってしまうものでも、裏では壮絶なドラマが隠されているものは、意外とあるのでは。もっと日本史の学びを深めていきたいと思った。

○今までミュージカルというのを見たことなかった私にとって、今回の文化行事はとてもよい刺激を与えてくれる機会でした。例えば和太鼓。中学校の音楽祭でパフォーマンズとして見たことはありましたが、この劇の太鼓はそんな音の思い出とは比べものにならないほど心に響きました。二人階席に座っているのに、空気が、音が波動として共に伝わってくる。多少「音が大きい」とは思いましたが、新鮮な体験でした。ほかの歌やダンス、

演技にも、彼ら在必死に伝えようとしているものがふと感じられた気がします。伝えたいことを全力で伝える。見る人はそれぞれ違う感じ方をします。これが「芸術」かと思いましたが、やっぱり私は芸術が好きなのだかと再確認しました。「光る夜空の星よ」という曲が、今でも胸に焼きついてます。それほどいい経験をしました。

計 報

誰かでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平 正人 先生
平成二十三年四月二十七日

体験入学・学校説明会について

6月23日(土)に中学3年生対象の体験入学が行われました。
10月20日(土)・12月8日(土)には中学3年生を対象に、来年2月2日(土)には中学1・2年生および小学生を対象に学校説明会が開催されます。

◆本年度の人事異動(履不同)

(講師は含まれていません)

【退職された方】

久富 利行 先生 (国語科)
中川 秋吉 先生 (数学科)
再任用として本校へ

仲尾 正輝 主査

【転勤された方】

山元 剛 教頭先生
府立枚方津田高校へ
水田 里美 先生 (国語科)
府立西成豊川高校へ

新井 正子 先生 (英語科)
府立東住吉総合高校へ

【履任された方】

田中 仁 教頭先生
府立西成高校より
藤脇 元志 先生 (国語科)
府立春日丘高校より

山本 奈央子 先生 (国語科) 新任

影山 裕久 先生 (社会科) 再任用として府立大正高校より

森田 浩司 先生 (社会科) 新任

高畑 隆一 先生 (社会科) 教育委員会より

高木 晃次 先生 (数学科) 再任用として府立春日丘高校より

安水 晃教 先生 (理科) 新任

中村 耕太 先生 (体育科) 府立寝屋川支援学校より

西村 麻衣子 先生 (体育科) 新任

圓入 佳子 先生 (英語科) 府立茨洲高校より

大井 武司 主査 再任用として府立清水谷高校より

◆平成24年度 主な大学合格状況

東京大学	1名
京都大学	39名
大阪大学	52名
神戸大学	33名
大阪市立大学	24名
大阪府立大学	20名
早稲田大学	5名
慶應義塾大学	2名
関西大学	92名
関西学院大学	77名
同志社大学	154名
立命館大学	120名

クラブ 便り

文化系クラブ・同好会

- ESS部…春の文化系クラブ発表会にて英語劇、文化祭で「英語でクイズ大会」を開催、平成23年度第51回大阪高校英語説明・弁論大会に参加
- 文芸部…例年、春の文化系クラブ発表会、秋の文化祭に合わせて部誌「傾いた天井」を発行し、作品を発表。通常は週1-2回様々なゲームを取り入れて活動、第2回田辺聖子文学賞に応募
- 美術部…文化祭にて創作絵ハガキ、小物を販売、収益は東日本大震災の被災地へ寄付、Art&アニメフェス2011 in大阪に2点出品(絵画)
- 軽音楽部…4月に新款ライブ、5-6月旧型ライブ、7月Summer Live、9月文化祭ライブ、12月冬ライブを行いつとレベルUPを図る。今年こそ校外のSneaker agesの予選通過を目標に文化祭にも参加
- 吹奏楽部…3月 第8回定期演奏会「フェリーチェコンサート」開催、7月 吹奏楽コンクール北地区大会銅賞、10月 全関西創立120周年記念式典にて演奏、11月 大阪府高等学校音楽会にて演奏、12月 大阪芸大アンサンブルコンテストにて金管8重奏賞、大阪府アンサンブルコンテストにてパーカッション5重奏金賞、1月 ソロコンテスト大阪地区大会にてTb銀賞・C金賞、第32回大阪府高等学校芸術文化祭開会式にてファンファーレ担当、2月 大阪府高等学校芸術文化祭にて演奏、校内の学校行事において文化祭・文化系クラブ発表会・体育大会・卒業式・入学式などで演奏
- 茶道部…4月 文化庁主催「子どもたちのための優れた舞台芸術体験」(於 大手前高校)開催、7月 インドネシア交流にて足茶(於 大手前高校)、9月 本校文化祭にて足茶、10月 全関西120周年記念式典にて足茶(於 リーゴロイヤルホテル)、京都国民文化祭・第2回近畿高等学校茶道部合同大会に大阪府代表として府立阿倍野高校とともに参加し優秀賞受賞(於 京都国際会議場)、11月 大阪府高等学校芸術文化祭茶道部会第3回講習会(於 大手前高校)に参加し主催校として運営に努める、国土交通省主催「はなやか関西大茶会」にて野点席担当(於 大阪城)、1月 第32回芸術文化祭閉会行事にて第4回学生茶会を開催(於 ドーンセンター)
- 演劇部…第61回大阪府高等学校演劇大会A地区大会参加→優秀賞、個人演技賞受賞
- 生物部…夏休みに韓国の高城江や淀川の河川調査を行い、大阪府教育センターにて発表、校内ではクーパールバー→アブリカツメガエル・ブナリアなどを飼育、文化祭では小中学生を対象にナリメンモンスターを展示した。
- 理化学研究部…春の文化系クラブ発表会にて演示実験(アルミット法など)、文化祭では各自が研究したテーマで発表及び演示実験(リーゼンガング現象、人工イタラの製作など)
- 書道部…国際交流で外国のお客様のあるときには一緒に書道を楽しみ、日本文化や日本特有の美の世界に触れる機会を創出し、平成23年度はインドネシアの方々と交流、日本書写研究会主催競争作品展、同会主催書初め作品展覧会に出品
- 漫画研究部…校内行事である文化系クラブ発表会と文化祭に合わせて年2回部誌を発行、文化祭ではカラー印刷による部誌を制作
- 数学研究部…文化祭で各自が研究したテーマを発表、平成23年度は京都大学などでも発表、数学コンクールに2名入賞、数学ハイレベル合宿やマスウェア(アメリカ・サンノゼ)などにも参加
- 園芸同好会…中庭に季節の花やハーブ・野菜などを植えて校庭や外周の花の手入れを行った。文化祭では自分達で育てた野菜やハーブを販売した。
- 天文同好会…昨年度末に足立し太陽観測などを行う。
- 放送委員会…自治会行事(コーラス大会・文化祭・体育大会など)での案内放送や司会を務めた。
- 図書委員会…1年に4回、Library Times (図書委員会通信)を発行、コトト(図書情報)に「図書委員の読書図書」を掲載、昼休み・放課後の図書貸出・返却等カウンター業務、蔵書整理等、読書推進運動の一環として文化祭ではブックカバー・手作りのおしおのブッククリップ・カードスタンド・古本などを販売し、売上金を寄付した。

運動系クラブ・同好会

- 水泳部…6月 大阪高校総合体育大会 中央大会出場2名、8月 大阪高校対抗、9月 大阪新人大会(男子)50m平泳ぎ1年男子8位入賞、(女子)200m個人メドレー1年女子4位入賞
- 登山部…4月 兵庫六甲山、6月 遊賀蓬萊山、8月 北アルプス高倉一槍ヶ岳、10月 兵庫白雲岳、12月 兵庫摩耶山、2月 奈良三峰山、3月 遊賀堂満音
- 硬式野球部…大阪高校春季大会出場、全国高等学校野球選手権大会大阪府予選出場、大阪高校秋季大会3回戦進出
- 陸上競技部…大阪田地区予選会(男子)100m2位、110mH2位、5000m競歩2位、4×100mR2位、(女子)3000m3位、大阪IH(男子)110mH6位(近畿IH出場)、近畿IH(男子)110mH準決勝進出、大阪選手権(女子)5000m4位(近畿選手権へ)、大阪高校総体地区予選会(2年男子)5000m競歩1位、(1年男子)100m3位、110mH2位、大阪高校総体1年男子110mH優勝(近畿ユース出場)、大阪高校駅伝(女子)3区2位、全国駅伝大阪府予選(女子)10位、1区2位
- ソフトテニス部…大阪高校春季大会予選女子5位・9位(中央大会出場)、大阪高校総体新人大会予選女子準優勝5位(中央大会出場)、男子同大会出場、大阪府公立高校大会予選女子ベスト8・ベスト16(中央大会出場)中央大会でベスト16、大阪府高校総体団体戦予選女子1位通過(中央大会出場)、男子1位通過(中央大会出場)中央大会でベスト16、大阪府公立高校ウインターカップ男子本選ベスト16、公立インデア大会出場
- 競式テニス部…女子:大阪府公立高校大会シングルス本選3位、学区大会団体戦3位 男子:学区大会 団体戦3位、大阪高校サマーテニス選手権 シングルス1名・ダブルス1ペア本選出場
- 柔道部…インターハイ大阪府予選出場・近畿大会大阪府予選 団体・個人出場、第1回緑風会柔道大会 男子70kg優勝、第24回関西高校柔道大会 女子個人優勝、第2回緑風会柔道大会 男子63kg優勝
- サッカー部…春季大会(4月)4回戦進出、大阪高校総体(9月)3回戦進出、新人サッカー大会出場、大阪U18サッカーリーグ大阪市ブロック・中河内サッカーリーグ下位リーグ準優勝、2012年度上位リーグ昇格
- 卓球部…大阪高校新人卓球大会ダブルスベスト64、大阪高校選手権大会ダブルスベスト64、全国選抜シングルス予選ベスト32、普及大会 3位の部準決勝出場
- 軟式野球部…全国高等学校軟式野球選手権大阪大会出場、大阪府高等学校軟式野球秋季大会出場
- 男子バレーボール部…春季大会部別1部リーグ2位、2次予選ベスト16(近畿大会出場)、大阪高校総体予選出場、大阪高校新人大会予選出場、大阪府公立校大会出場
- 女子バレーボール部…春季大会部別2部リーグ4位、ウインターリーグ第13位、大阪府公立校大会出場、大阪高校新人戦3部リーグ1位(2部昇格)、大阪高校総体大阪地区予選2回戦進出
- 男子バスケットボール部…大阪総体予選ベスト32、インターミューフルカップ5位、全国高校バスケットボール大阪府予選・大阪高校新人戦に出場、西地区府立高校大会に出場
- 女子バスケットボール部…全国高校バスケットボール大阪府予選・大阪総体予選に出場、大阪高校新人戦2回戦出場、西地区府立高校大会16位
- フグビー部…春季大会(リーグ戦)2勝1敗、普及で夏期合宿実施(8月)、全国大会予選出場、近畿大会予選出場、伝統校交流大会出場(於 5月 京都大学)
- 剣道部…平成21年度大阪府立高校第二学区剣道錬成大会 男子団体ベスト8 女子団体3位 男子個人準優勝 女子個人優勝・3位、第5回大阪公立高等学校剣道錬成大会 女子団体ベスト8
- ダンス部…文化系クラブ発表会・文化祭(全日程、定時制)での発表、ダンス部単独公演、第52回大阪府高等学校創作ダンス発表会 優秀賞(11月)、大阪府高等学校芸術文化祭開会行事(1月)、その他国際交流行事に参加
- バドミントン部…夏期合宿実施(7月)、大阪府大会 春季ダブルス2回戦進出、夏季シングルス3回戦進出、ダブルス2回戦進出、団体戦出場 冬季シングルス3回戦進出、ダブルス2回戦進出、大阪府公立高校大会団体戦出場、愛知県清林館高校との合同練習・練習試合(1月)、産高校・市岡高校・吹くやこの花高校との合同練習・練習試合、中学校との合同練習実施
- 合気道同好会…35名で活動中、春日丘高校や京都大学との合同稽古を行う、夏期休業中には春日丘・北千里高校との合同合宿を行った、6月に3年生6名が初段を取得、文化祭にて演武を実施



母校国際交流事業 平成23年度 英国交流

「金蘭会」の支援を得て平成十五年からは始まった英国交流も、平成二十三年度で九年目を迎えました。その間、この行事は大手前高校の国際交流活動の活性化を牽引し、また象徴するものとして、大きな役割を果たしてきました。中学生にとつての大手前高校のイメージも、国際交流の盛んな学校というイメージが強く、入学式直後の英国交流説明会には半数以上の新生入生が関心を示し、二本の小論文を書いて実際に応募してくる生徒もこの十六期生だけで九〇名、二年生も含めると百三〇名にのぼりました。選考委員として意欲のこもった小論文を読み、面接をしているだけでも、この行事が生徒たちの知的好奇心を高める貴重な機会になっていることが実感できます。その小論文はひと月前までは中学生だった生徒が書いていたとは思えないほど内容が濃く、これを書くだけでも立派な学習であると感じさせられるものでした。

さて、二十三年度は七月四日（月）から十六日（土）まで、生徒八名と教員三英語科の蜂谷と国語科の私の計十名が英国ウエールズのペンクライス校を訪問し、現地の生徒たちや先生方のご家庭

にホームステイして、かの地の美しい自然、生活や文化、そしてなによりも人々の善意に触れてきました。

現地での活動を列挙します。
五日 調理実習、アペリストゥスの町の散策／六日 朝の集い、茶道披露、切り絵指導、日本クイズ、カヌー体験／七日 朝の集い、ハーレック城見学／八日 デビルズ・ブリッジ見学／九、十日 ホストファミリーとの活動／十一日 音楽授業、書道披露、サーフィンとビーチゲーム／十二日 ペンクライス校の遠足でオークウッド・テマパークへ／十三日 マイイル・ウォーク、お別れパーティ／十四日 ペンクライス校でのお別れ会、ホストファミリーとの活動。



朝の集いで大手前の生徒たち

は、集客室に集まったペンクライスを前に、詩吟、剣道、歌唱を披露しました。三つの学年の生徒たちに三日にわたって行なったので、どの学年の生徒たちも熱

心に見入っていました。授業時間に行なった茶道や切り絵、書道は、大手前の生徒が教室の前に立つてペンクライス生に教えていたので、どれも興味を引くものだったようです。とくに切り絵は各自の感性と表現力が発揮できるだけに、ペンクライスの生徒たちも夢中になっていました。

多くの野外体験が用意されていますが、歴史がありテーマパークのような趣のあるウエールズの町並み、水の豊かな滝や川、湖水、緑の森林や羊の遊ぶ草原、干満の差が大きく広大な砂浜など、目にするものすべてが新鮮で、日本の環境やあるべき景観を考える機会にもなりました。

また、どのホストファミリーも温かく受け入れてくださり、生徒たちは忘れがたい数々の思い出をお土産に帰国しました。

これらの活動はすべて、ペンクライス校の先生方、そしてホストファミリーの人々のもてなしの精神に支えられて実施されたものです。その根底には、川口先生が結びつけ、両校が長年にわたって培ってきた深い信頼関係があります。今回ウエールズを訪問した八名の生徒たちも、事前準備に力を注ぎ、現地でも多くの経験と学びとともに相互の信頼関係をさらに深めてきました。その努力の成果が表れているのでしよう。今年（二〇二二年）の七月に大阪を訪れるペンクライスの生徒は、なんと十三名にもなるのです。

（母校教諭 石若達弥）

第13回 国際グリム賞

主催 (財)大阪国際児童文学館 (財)金蘭会 大阪府立大手前高等学校



大阪国際児童文学館が、千里万博公園から大阪府立中央図書館内に移設されて初めての授賞式が、大阪市天王寺区の大坂国際交流センターにて、二〇二二年十一月十二日（日）、受賞者の蔣風浙江師範大学名誉教授（中国）を迎えて開催されました。

児童文学研究の基盤を作り、児童文学研究の発展と向上に多大な貢献をされてきました。同時に、中国国内にとどまらず、アジア地域における児童文学研究の中心的存在として幅広く活躍されています。

著書も数多く、「児童文学概論」（一九八二）や「世界児童文学辞典」（一九九二）などを出版され、世界的視野で中国児童文学を位置づけられました。

続いて行われた記念講演会は百名を超える参加者があり、その中には金蘭会会員の姿も見受けられました。蔣風名誉教授は「明日の夢に向かって―中国児童文学の過去・現在・未来―」と題して、中国児童文学の歴史を研究的な視点で振り返られ、年齢を感じさせない熱い語り口からは、先生が中国児童文学研究のバイオニアであり第一人者として、自らの研究を深化・追究されたと共に、中国児童文学界の発展に尽力されている情熱がひしひしと感じられました。

（国際グリム賞委員会委員長

S30卒 多田嘉孝）

二部会長から国際グリム正賞の盾と副賞の賞金が手渡されました。当日は中華人民共和国の副領事や、大阪府教育委員会代表からも出席され、お祝いの言葉を頂き、最後に蔣風教授による受賞の言葉が述べられ、授賞式は終了しました。

今回受賞されました蔣風名誉教授は、長年にわたり中国における児

会務報告書

平成二十三年年度 事業報告

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十三年四月二十三日(土)

於 金蘭会ホール

(出席四十八名・委任状九十九名)

①東日本大震災による金蘭会会員の被害報告はなし 百二十周年記念事業は予定どおり実施

②事業報告 決算報告 承認

③事業計画 収支予算 承認

④金蘭会百二十周年記念事業計画の説明

⑤監事名辞任に伴う監事一名選出

(2) 理事会

第一回 平成二十三年五月二十八日(土)

第二回 平成二十三年七月二十三日(土)

第三回 平成二十三年九月 三日(土)

第四回 平成二十三年十月二十六日(土)

第五回 平成二十四年一月二十八日(土)

第六回 平成二十四年三月 三日(土)

第七回 平成二十四年四月 十四日(土)

(3) 「大手前だより」発行

平成二十三年七月(会員三七七名)郵送

(4) 新入会員歓迎会

平成二十三年九月四日(日)

於 金蘭会ホール

(新入会員百四名・先生十二名 出席)

(5) 新年互礼会

平成二十四年一月二十一日(土)

於 金蘭会ホール

(来賓三名・会員五十六名 出席)

(6) ホームページ運営

〔WEB金蘭会〕を随時更新最新情報を掲載

(7) 金蘭会セミナー開催

第四七回 平成二十三年四月 十五日(金)

第四八回 平成二十三年五月 十七日(金)

第四九回 平成二十三年六月 十七日(金)

第五〇回 平成二十三年七月 十五日(金)

第五一回 平成二十三年九月 十六日(金)

第五二回 平成二十三年十月 二十一日(金)

第五三回 平成二十三年十一月 十八日(金)

第五四回 平成二十四年一月 二十日(金)

第五五回 平成二十四年二月 十七日(金)

第五六回 平成二十四年三月 二十三日(金)

パソコンスクール運営

原則として毎週月・金曜日に開催

二、特別事業

(1) 金蘭会百二十周年記念事業

・記念式典・総会(懇親会)平成二十三年十月十六日リリオロイヤルホテル 四九二名出席

・母校支援 金蘭会館にレター設置贈呈

・記念クルーズ(平成二十三年五月十九日、二十一日 芸子諸島&五島列島 二三名参加)

・記念誌刊行 「金蘭百二十年のあゆみ」

(クリアファイルとともに配付販売)

・会員名簿刊行(会員に販売)

・表彰・慰霊 功労者十四名を表彰、物故者五、五九八名を慰霊

・母校主催事業に対する援助

・母校生徒の集中セミナー費補助など

・母校国際交流事業に対する援助

・渡航費の二部支援・報告会の開催

・第十三回国際クリム賞の贈呈

・中国・浙江師範大学 蔣風名教授に授賞、記念講演

・役員選出委員会設置十二月 二十六日

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

・平成二十四年度 事業計画

金蘭会活動を支えるのは

皆様の年会費です

昨年は、金蘭会創立百二十周年ということと、二年にわたり皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。お蔭様ですべての記念事業を無事に終えることができました。本当に有難うございました。

また、昨年は振込用紙の印刷に不具合が生じ、A.T.Mでの振込に一部支障が発生し、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。今後、このようなことが起きないように気をつけたいと思います。A.T.Mで振り込んでいただくと、同窓会負担の払込手数料が少しく安くなりますので、ぜひA.T.Mをご利用ください。

さて、昨年、年会費¥2000(卒業後五年間は免除)を納めていただいた2621名の皆様、ご協力ありがとうございました。また、十年前よりの賛助金(¥2000)の呼びかけに938口ものご厚意を頂戴いたしました。重ねて御礼申し上げます。

今年度の年会費は、平成十九年までに卒業された皆様方、また賛助金は、全会員の皆様にご一から受け付けておりますので、よろしくお願いたします。

年会費(¥2000)、賛助金(¥2000)は、「大手前だより」同封の振込用紙をご利用下さい。

なお、昨年刊行の会員名簿と記念誌(クリアファイルとセット)に残部があります。会員名簿購入ご希望の方は、この振込用紙でお申込みください。また記念誌については、事務局までお問合せください。

(会計理事 S40卒 田原由夫)

振込はA.T.Mをご利用ください

平成24年度予算

一般会計（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(1) 収入の部

単位(円)

入会金	360名×1,800,000	650,000
賛助金	1,900,000	6,000
生業費	5,900,000	6,000
毛織物売上	165,000	6,000
会期利用料・他	250,000	-
寄附	-	-
グループ会社より繰入	0	-
〔小計〕	(9,115,000)	-
前繰繰越金	21,759,670	-
合計	30,874,670	-

(2) 支出の部

単位(円)

〔運営費〕	(3,413,500)	
事務経費	2,813,500	明細は、参考の通り
会議費	200,000	新年式礼会など
慶弔費	400,000	卒業式の祝賀子など
〔一般事業費〕	(3,650,000)	
大手前日より発行費	2,500,000	
特入会員献金	400,000	
〔子関連費〕	400,000	
金庫会セミナー補助金	300,000	
〔特別事業費〕	(1,950,000)	
母校への支援	1,000,000	
母校の国際文化交流支援	400,000	受入れ等
国際ogram賞	500,000	研究会と合計して100万円
文庫資料整理	30,000	
会員名簿整備	30,000	
〔予備費〕	(200,000)	
〔小計〕	(9,353,500)	
金庫会運営準備費に振替	10,000,000	
次期繰越金	11,521,170	
合計	30,874,670	

参考 事務局費用明細

単位(円)

運営助手手当	700,000
文通費	5,000
事務用品費	300,000
通信費	280,000
印刷費	300,000
雑費	120,000
会期運営費	440,000
私用品料	300,000
リース料	253,000
雑費	75,000
合計	2,813,000

H1 金庫会運営準備金

単位(円)

旧改築費の前繰繰越金	188,305
一般会計より振替	10,000,000
体育館の最後の修繕	600,000
金庫会ホームの空調設備の改善	3,000,000
合計	10,188,305

H2 金庫会創立120周年基金

単位(円)

前繰繰越金	4,420,351
-------	-----------

H3 母校国際文化交流事業 金庫会奨学金基金

単位(円)

前繰繰越金	650,000
-------	---------

H4 金庫会グループ準備金

単位(円)

前繰繰越金	650,000
-------	---------

金庫会創立120周年記念事業 収支報告

(1) 収入の部

単位(円)

金庫会創立110周年基金	5,073,500
金庫会創立120周年協賛金	23年度 5,093,000
	24年度 4,768,000
式典・総会	3,304,000
表彰・記念	1,646,000
表彰・記念	88,000
120周年記念誌	361,000
120周年記念誌	1,861,500
120周年記念クルーズより	3,725,621
合計	26,919,711

(2) 支出の部

単位(円)

母校支援事業(金庫会部へのエレベーター設置等)	11,711,340
120周年記念式典・総会開催	5,093,853
表彰者表彰・物致費慰問	258,137
120周年記念誌「金庫百二十年のあゆみ」刊行	1,348,719
120周年金庫会会員名簿刊行	4,696,365
120周年準備経費	78,926
金庫会創立120周年基金へ	4,420,351
合計	26,919,711

平成23年度決算報告書

1 一般会計

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 収入の部

単位(円)

入会金	66,900	1,800,000	1,585,000	317名
賛助金	66,900	1,800,000	1,877,500	
生業費	66,900	5,000,000	5,242,000	3621名 参考1
毛織物売上	-	-	-	記念事業別会計
会期利用料・他	250,000	-	236,000	
寄附	-	-	-	
グループ会社より繰入	-	-	17,126	
〔小計〕	(8,650,000)	-	300,267	
前繰繰越金	21,733,963	-	19,258,493	
合計	30,383,963	-	30,992,356	

(2) 支出の部

単位(円)

〔運営費〕	(3,378,200)	(3,274,951)
事務経費	2,679,500	2,631,313
会議費	200,000	124,544
慶弔費	500,000	316,894
〔一般事業費〕	(3,820,000)	(3,201,850)
大手前日より発行費	2,500,000	2,205,671
特入会員献金	450,000	414,811
〔子関連費〕	400,000	413,265
金庫会セミナー補助金	300,000	218,108
特別事業費	(2,730,000)	(2,705,880)
母校への支援	1,000,000	1,000,000
母校の国際文化交流事業支援	1,300,000	1,300,880
国際ogram賞	500,000	500,000
文庫資料整理	30,000	0
会員名簿整備	-	-
〔予備費〕	(200,000)	(0)
〔小計〕	(10,258,500)	(9,202,646)
次期繰越金	20,125,363	21,759,670
合計	30,383,963	30,992,356

参考-1 平成23年度年金支払内訳

平成23年度年金支払	5,738,000
上記内訳明細	-218,000
前年の繰上り	+222,000
平成23年度分	5,742,000

参考-2 課外年会費 明細

前期繰越金	334,000
上記内訳(不年度分)	-324,000
本年度分の課外	+218,000
次期繰越金	228,000

参考-3 新年式礼会収支報告

23年度収入	280,000	会費	292,224
合計	30,000	参加費・商品	181,673
24年度収入	32,568	参加費・商品	8,673
合計	302,568	合計	302,568

参考-4 新入会員収支報告

会費	30,360	会費	321,319
参加費・商品	414,861	参加費・商品	133,461
参加費・商品	18,365	参加費・商品	18,365
合計	463,526	合計	463,526

参考-5 セミナー収支報告

年会費	178,000	運営費	92,000
合計	25,000	運営費	100,000
高日会費	1,923,000	会費	1,900,148
参加費・商品	62,000	参加費	72,960
参加費・商品	218,188	参加費・商品	37,280
合計	1,496,288	合計	1,496,288

2 財産目録(平成24年3月31日現在)

現金	11,955	金庫会創立120周年基金	34,233,243
遊園地(三井住友)	1,028,230	同上遊園地基金	198,285
遊園地(三井住友)	3,448,496	次年度設備費	302,000
中文書籍	20,928,891	金庫会グループ準備金	600,000
金庫会設備	23,073,330	金庫会創立120周年基金	4,070,351
固定資産	12,284,716	金庫会創立120周年基金	930,000
家賃加入料	34,343	私立金(電通)	4,420
合計	44,338,369	私立金(相互)	21,759,670
		合計	44,338,369

平成24年3月31日

金庫会 会計理事 田原 由夫
会計理事 平松 美樹

監査報告

このたび 平成23年4月1日から平成24年3月31日までの決算について、監査を行いましたところ、適正にして、正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成24年4月12日

金庫会 監事 真井 昌輝
監事 中田 慶一

金蘭会組織

(平成24年度～26年度)

会長	安 橋 興二 郎	
副会長	岩 田 和 歌 子	
会 計	石 田 良 一	
	貫 井 昌 博	
書 記	田 原 由 夫	
	大 銀 治 和 美	
総 務	福 味 真 樹 紅	
	石 田 良 一 (兼任)	
	留 井 恵 子	
	安 橋 香 代 子	
	田 中 文	
	瀧 美 寿 雄	
	横 暮 久 治	

【委員会(理事)】

部 門	委 員	委 員	
組 織	上川庄 二郎	米田 玲子	升谷 博
		藤原 啓助	森 延哉
		藤田 正利	辻本 賢
		田中 宏幸	
広 報	大銀治和美	石川 温子	山口 高弘
		石田 良一	田中 文
		瀧美 寿雄	野口 幸一
		横暮 久治	平松 美樹
I T	山口高弘	藤原 啓助	貫井 昌博
		石田 良一	留井 恵子
		安橋香代子	大銀治和美
		小南 典子	瀧美 寿雄
会 員 名 簿	石川温子	多田 嘉孝	鶴下 勝子
		山口 高弘	田原 由夫
		田中 宏幸	野口 幸一
金 蘭 会 文 庫	横暮久治	岩田和歌子	木村 定
		島崎優文子	藤原 啓助
		鶴下 勝子	留井 恵子
		安橋香代子	佐保 正夫
運 営	留井恵子	岩田和歌子	上川庄二郎
		貫井 昌博	石田 良一
		安橋香代子	佐保 正夫
		大銀治和美	田中 文
行 事	安橋香代子	岩田和歌子	田 雅之
		岩田和歌子	野口 幸一
		横暮 久治	福味真樹紅
		石出 将也	
少 年 科 目	多田嘉孝	石川 温子	田原 由夫
		福味真樹紅	中嶋 邦子
母 校 支 援	升谷博	岩田和歌子	橋越かよ子
		石田 良一	留井 恵子
		田中由樹子	中嶋 邦子

金蘭会ホールご案内

運営委員会

〈事務局からのお知らせ〉

金蘭会館へお車でのご来館はご遠慮いただいております。特別に事情がある場合は、事前に金蘭会事務局にご連絡ください。学校と相談してご返事いたします。

金蘭会セミナー

第15期皆勤賞

(141回～150回)

得 津 美 智 子 S16本 卒	赤 松 峰 子 S 29 卒
岩 田 和 歌 子 S16本 卒	金 田 昭 子 S 29 卒
濱 恵 美 子 S19本 卒	久 保 田 和 夫 S 29 卒
奥 田 美 貴 子 S20本 5 卒	小 田 純 子 S 31 卒
島 崎 優 文 子 S21高 専 卒	中 道 昇 S 32 卒
大 西 千 枝 子 S22本 5 卒	山 口 富 美 子 S 33 卒
中 西 由 江 S23本 卒	五 十 嵐 祥 晃 S 34 卒
相 宗 照 子 S 25 卒	留 井 恵 子 S 39 卒
玉 野 繁 一 S 25 卒	田 原 由 夫 S 40 卒
賀 本 和 子 S 25 卒	栗 原 美 美 子 S 40 卒
福 渡 澄 子 S 26 卒	中 野 佳 昭 S 41 卒
野 口 康 江 S 26 卒	大 銀 治 和 美 S 46 卒
岸 田 政 子 S 28 卒	福 味 真 樹 紅 S 62 卒
瀧 藤 晴 子 S 28 卒	

(敬称略)

第16期報告

回	開催日	演 題	講 師	収録
151回	平成23年 9月16日	放射線と原子力	五十樓 泰 人氏(S36卒) 元京都大学放射線同位元素総合センター長 京都大学名誉教授	100
152回	平成23年 10月21日	東日本大震災を教訓にして -想定を超える津波対策-	吉 村 庄 平氏(S52卒) 大阪府 危機管理室長	90
153回	平成23年 11月18日	「認知機能」にアタック!	玄 番 央 恵氏(S33卒) 大阪信愛女学院短期大学 客員教授	104
154回	平成24年 1月20日	四季の花々 その②	升 谷 博 氏(S27卒) 前金蘭会会長	73
155回	平成24年 2月17日	携帯電話のしくみ	守 倉 正 博氏(S50卒) 京都大学大学院情報学研究所 通信情報システム専攻 教授	92
156回	平成24年 3月23日	3月11日後の科学	坂 東 昌 子氏(S31卒) NPO法人移住ネットワークあいちの理事長 元日本物理学会会長 慶知大学名誉教授	103
157回	平成24年 4月20日	科学技術の発達-我々は何処に行くのか-	眞 弓 忠 節氏(S34卒) 大阪大学名誉教授 神戸学院大学名誉教授 元大阪大学副学長 元神戸学院大学学長	96
158回	平成24年 5月18日	平安時代の税と暮らし	永 松 圭 子氏(S46卒) 神戸女子大学大学院非常勤講師 文学博士	81
159回	平成24年 6月15日	まち塾@まちライブラリーのすすめ ~六本木ヒルズを越え、活き活きと生きるための 一人からできる文化活動~	磯 井 純 充氏(S52卒) 財団法人森記念財団 教育・普及事業部長	83
160回	平成24年 7月20日	チーズに魅せられて	古 川 三 恵氏(S39卒) 世界チーズ商会株式会社 取締役総務部長	未

第17期金蘭会セミナーへのお誘い

平成8年9月から始まった金蘭会セミナーは、講師も受講者も会員で、会員相互の親睦を深め教養を高めることを目的としています。奮ってご参加下さい。

- とき **原則第3金曜日**(1・8月はお休み)
PM 6:00~7:00 卓話
PM 7:00~8:00 交流会
 - ところ 金蘭会ホール
(年会費)1,000円(年10回の往復はがき代)
(参加費)当日徴収 1回1,000円(軽食費込み)
 - 申込方法……金蘭会セミナーの年会費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎月往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。(同席・ピシター 1,500円)
- 予告
第161回セミナー 9月21日(金)
テーマ: **おかみから見た相撲界**
~今、昔、これから~
講 師: 長 岡(芋縄) 恵 氏(S56卒)
高砂部屋おかみ

金蘭会パソコンスクール 金蘭会館2階ホール



入退随時・自由出席・初心者歓迎

受講生の進度・目的に合わせてマンツーマン対応
パソコン持参・スクールのパソコン使用のどちらでも可
クラブ的な雰囲気 3時のティータイムも楽しみ

インターネット・メール・ワード・エクセル・デジカメ
写真加工・年賀状・名刺・案内状・住所録・CD/DVD・パワーポイント等々
総勢16名の同窓生お助けパースが交代で夫々の持ち味を生かしてお手伝い

予約なし手ぶらで見学OK
下記の開催日に一度覗いてみてください
まだパソコンをお持ちでない方も大丈夫

年内の開催スケジュール 13:00~17:00
7月 23・27 2時間×2コマ 計4時間
8月 20・24 参加費 2時間あたり500円
9月 10・14・24・28 月・金曜日に年間66回開催
10月 1・5・12・15・22・26・29
11月 2・5・9・12・19・26・30
12月 3・7・10

連絡先 tel/fax 06-6854-1090 山口
金蘭会ホームページ http://kinran.jp/school/

同好会 ご参加お待ちしております

	身近な法律Q&Aゼミ	俳句ゼミ	スクエアダンス同好会
内 容	身近な法律問題について具体的な事例を3問取り扱います。また、関連する問題についても検討されるので役に立ちます。アットホームな雰囲気です。弁護士さんの解説があり、質問も自由なので助かります。年1回の刑事事件の法廷傍聴会と忘年会も楽しみます。	俳句の基礎知識を学びながら、四季の移り変わりや、日常の暮らしの中での様々な感情を俳句に詠み込ましさを味わいます。句会や時行に参加して作句力を養います。初めの方のご参加、大歓迎です。ゼミ当日にご持参いただくものは筆記用具、ノート、テキスト本、感時記、小型辞書。参加希望者は下記連絡先にてお申し込みください。	スクエアダンスで若さと笑顔を保ちましょう。習得すれば、欧米・台湾などでも現地の人とスクエアダンスでの交流が楽しめます。男・女の別なく、中高年にピッタリで、明るく楽しく踊れます。
講 師	弁護士 田中宏幸氏(S49卒)	池田泰子氏(S29卒)	インストラクター(コラー) 水澤健一氏(S34卒)
日 時	2/17(金)、4/20(金)、 6/15(金)、8/30(木)、 9/21(金)、10/19(金)、 12/21(金) 午後3時~5時	1/20(金)、3/23(金)、 5/18(金)、7/20(金)、 9/21(金)、11/16(金)、 午後1時30分~4時30分	毎月第2・第4月曜日 (8月は休み) 午前10時~12時 詳細は、WEB金蘭会を 参照ください。
費 用	年会費 5,000円 (会場費、資料代、 お菓子、忘年会費込み)	年会費 5,000円 開催日にご持参ください。全5回の 会場費、資料代、用紙代等々として。	入会金 1,000円 (継続の方は無料) レッスン料 500円/回
お 問 い 合 せ	大塚 徳子氏(S26卒) TEL 072-229-1557 田中 宏幸氏(S49卒) TEL 06-6630-3005 FAX 06-6630-3015	講師 池田泰子氏(S29卒) TEL/FAX: 0745-45-1720 幹事 廣田允義氏(S30卒) TEL 06-6852-6688	小橋 敏子氏(S34卒) TEL 090-1132-7389 水澤 良子氏(S35卒) TEL 090-9097-7671

金蘭会ホール使用要領

- 1.使用対象者
金蘭会会員
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
- 2.使用可能日時
原則として火、木、土曜日
午前11時~午後4時、午後5時~午後8時
上記以外の日時については事務局にご相談ください。
- 3.申込について
①事務局に申込む。
TEL06-6942-3947 FAX06-6942-4124
使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥寿司、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
- 4.使用料金

	午前11時~ 午後4時	午後5時~ 午後8時
会議室(30名~50名)	3,000円	5,000円
談話室(20名~30名)	3,000円	5,000円

- 5.その他
使用目的が同好会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。
使用に当たっては学校敷地内であることを配慮のこと。

各委員会より

▼IT委員会.....

IT委員会は金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」の運営とパソコンスクールの運営を担当しています。

ホームページは金蘭会の情報公開の場として、理事会での議事内容や各委員会の活動状況などを逐次掲載すると共に、金蘭会と会員との連絡の場としても重要なことから、更に利用し易いものとなるよう、また、各ページの内容も最新のものに更新するよう努めています。ホームページについて、会員の皆様の要望をお受けしますので、委員会までお寄せ下さい。

パソコンスクールでは、開催可能な月・金曜日の午後一時から五時まで、年間七十日程で開催し、Windowsパソコンを使用してのネットサーフィンやEメールのやりとり、デジタルの画像処理、年賀状の作成などを習っていただいています。出席は随時ですので、受講者の皆様はそれぞれのテーマを楽しく学んでおられます。

ホームページのアップ作業やパソコンスクールの「お助けパース」は、ボランティアで集まった会員で運営しています。委員会活動に協力していただける方がおられましたら、是非ご協力下さい。お待ちしております。

(文責 S28卒 藤原啓助)

▼組織委員会.....

(今年から前任の田中安幸氏(S49卒)に代

わつて組織委員長をお引き受けすることになりました。初めてのことで戸惑っておりますが、職責を全うしたいと考えております。

組織委員会の使命は、安福会長が常々仰っていることですが、会員三万人を超す同窓生の同学年を対象とした横の繋がりがだけでなく、年代を超えた縦の繋がりが大切にした様々な取り組みができるよう考えてゆくことだと思っております。

取り敢えずは、同窓会活性化の二助として、卒業二十周年目に当たる年次の方々の学年会開催に当たって、金蘭会から若干の援助を昨年からお申し込みしております。代表評議員の方から

(組織委員会委員長 S29卒 上川庄二郎)

▼行事委員会.....

新入会員歓迎会

昨年九月四日(日)金蘭会ホールに於いて、平成二十三年卒の新入会員百四名出席のもと、歓迎会を開催しました。

美味しいお料理とケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新入会員を歓迎しました。

卒業後初めての学年会で、参加してくださいました十二名の先生方や同窓生との会話も弾んでいました。

今後の同窓会活動への理解と参加につながってほしいと思います。



なお、歓迎会のアルバムを見るためには、次のURLにアクセスしてください。

<http://kinran.jp/shinkai/passwordalbum.html>
パスワード shinkai

(行事委員会委員長 S40卒 安積 香代子)

平成二十四年卒の皆様へ

今年度の新入会員歓迎会を、母校の文化祭の日程に合わせて開催します。

日時 平成二十四年九月九日(日)

十二時三十分より

場所 金蘭会館一階 金蘭会ホール
会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム

詳細は、往復はがきにてご案内いたします。

◎奮ってご参加ください。

メールでの申し込み締め切り

八月二十三日(木)

金蘭会のホームページから申し込みます。

▼名簿委員会.....

創立百二十周年記念会員名簿刊行

会員の皆様方には平素から名簿委員会の活動にご協力いただき有難うございます。

五年ごとの会員名簿は、昨秋の金蘭会創立百二十周年の記念事業の一環として無事刊行されました。刊行に際し、広告掲載等に多大

なご尽力を賜りました会員ならびに関連各社に、紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。新名簿は、送料共二冊五千五百円です。同封の振込用紙にて、記念に是非ご購入下さい。

なお、いつもお願いしていることですが、この「大手前だより」をお二人でも多くの会員にお届け致すために、住所その他の変更は速やかに金蘭会名簿委員会までご通知下さい。また、学年会・クラス会・クラブOB会等を開催された場合は、その際に判明した会員の消息をご提供下さるよう併せてお願い致します。もちろん、個人情報管理には細心の注意を払っておりますので、今後とも名簿委員会へのご協力よろしくお願い致します。

(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

★母校支援委員会★

「母校教育活動の支援」は同窓会の基本方針の一つであり、この考えに沿って、この一年間当委員会は活動していきます。

具体的には、集中セミナー、スクールカウンセラー等母校独自の教育活動に、有効に活用していただくよう年間100万円の支援を行います。

ウェールズ・ベングライズ校との国際交流については、本年は受入れの年に当り、その費用として43万円の支援を行います。

いずれにせよ、これらの支援は会員皆様から納入される年会費、ご協力いただいた賛助金より支出されるものです。今後とも会員の皆様に母校の教育活動へのご理解と一層のご支援をお願い申し上げます。

母校支援委員会委員長 S27卒 升谷 博

学年会だより

あおぎり会

昭和十九年卒

今年、気温が定まらず、異常気象の連続でした。春の訪れを待ちましたがままならず四月二十三日の同窓会の日を迎えました。

昨年担当の方は、東日本大震災があり、皆々様大変御苦労されたと存じます。

今から七年程前、幹事をさせていただきました、三ノオータの城見の間で同窓会をいたしました。その時は七十二名の参加者があったものの、今年には二十三名と激減しました。不参加の理由は、遠出が出来ない十数名、足腰痛で行けない数名、老人ホーム、人工透析、寝たきり、等々の理由で、元気な人は十名弱で年を感じました。しかし会には、関東より三名、西

は広島県、そして和歌山県、関西方面からは、十一の市町村から、馳せ参じていただき、七十年前の思い出に、花を咲かせました。

私たちは昭和十四年に大手前高女に入學、昭和十六年に大東亜戦争となり、昭和十九年に卒業するまで、戦争と共にあけられた日々でした。物の無い時代を、皆が明るく生き抜いてきたと思っております。

楽しい思い出と結び、校歌斉唱で、お聞きと致しました。

次年度の幹事も決まり、再会を約束して、お別れしました。皆様のご協力のもと、盛會裡に終える事の出来ました事を、感謝しております。

幹事 一同
文責 田中 瀬子

四期生学年会報告

昭和二十七年卒

卒業六十周年・傘寿の祝の年に当る本年、記念学年会を、昨春新築なった大阪ステーションシティビル二十八階ラグナヴェールプレミアで、六月二十一日賑々しく開催した。記念学年会ということもあり、首都圏・伊豆下田・浜松・岡山在住の十一名の出席を得て、会員七十三名の出席であった。

いつまでもお変わりなくお元気な岸田乾、杉野三先生をお迎えして、出席者一同元気をいただいた。全員六十年を振り返って、元気に顔を合わせることが出来たことをお互いに喜び合い、話は尽きなかった。

学年会も六十周年。人生に例えれば還暦を迎えることになるが、今後は初心に帰る、会員の皆様が出席していただける限り、毎年開催していきたいと思っておりますので、皆様方のご協力宜しくお願い申し上げます。

文責 井谷 博

五期生学年会について

昭和二十八年卒

今年六月一日に、学年会を開催します。年に一回、学年会を持つことになって、すでに十年以上が経過し、その間、多数の学友が亡くなり、またクラス幹事も、体調不良を訴える人も増え、また家庭の事情などもあって、なかなか揃って集まれない状況です。従って、今年の学年会開催通知の中で、来年以降の学年会のあり方について、アンケートをお願いしました。その結果については今年の学年会で審議し、結論を出したいと思っております。

アンケートの内容は以下のとおりです。

- できる限り、今までとおり年一回開催する。
- (一)年に二回程度の割合で開催する。
- 今回を最後に解散する。

○来年は卒業六十周年で、区切りがよいので、来年の開催を最後に解散する。

○その他の意見

なお、解散した場合の金庫会と学年会との関係についても、意見を求めています。

文責 学年代表評議員 藤原 啓助(五組)

六期会学年会奈良で開催

昭和二十九卒

昨年は、金庫会百二十周年記念行事や瀬戸内&五島列島クルーズと多彩な行事がありましたので、六期会はお休みにしました。

今年去る五月四日に、薬師寺の安田順恵さんの行き届いた配慮で、関西の連立館と云われる奈良ホテル&薬師寺白鳳伽藍拝観と豪華なプログラムで開催しました。

七十九名の参加者で賑わい、昨日フランスから帰国したばかりの前日銀総裁福井俊彦さんの「世界情勢の趨勢と日本の立場」という話に続いて乾杯となりました。

安田さんの名司会のもと、久々の再会とあつてみんな和気藹々の三時間を楽しく過ごし、来年は十月ごろ大阪近辺で開催することと幹事に二任。最後は校歌を斉唱してお聞きとなり、その後、貸切りバスで二行は薬師寺に移動。危ぶまれたお天気もまずまずの日和で私たちに味方してくれました。

薬師寺では、国宝の東塔が解体修理中とあつて少々残念でしたが、私たちのために特別に西塔の内部を拝観させて頂くというご配慮に感謝。金庫では久しぶりに薬師如来と動きのある美しい腕侍の日光・月光両菩薩を拝観。続いて、平山郁夫画伯の描かれた玄奘三蔵院伽藍の壁面・絵身舍利を拝見。ここで、安田廣胤長老から直々に「挨拶を賜り一回感謝した次第。

薬師寺拝観を終えて、靈験あらたかな気分の中に三三五五の流れ解散となりました。

六期会学年会幹事一同

学年同窓会開催のご案内

昭和三十三年卒

三十三年卒のみならずには、御清祥のこととお喜び申し上げます。さて、下記の要領にて学年同窓会を開催いたします。来年(平成二十五年)の同窓会ですが、ぜひ予定に入れておいて下さい。なお、年末または年始にメールおよび往復はがきで、案内させていただきます。予定しております。多数のご参加をお願いいたします。

開催日時：平成二十五年四月十一日(木)

十二時三十分～十五時

開催会場：ホテル阪急インクローナショナル

大阪市北区茶屋町19-119

TEL 06-6377-2100

(幹事：井上富江、植田竜一)

清水祥子、宮井幸男

文責 宮井 幸男

学年会

昭和三十四年卒

五月二十日・二十一日の両日、今年の学年会(一)会が高野山で開催されました。

一日目昼前の南海特急では、ほぼ二両併り切りに近い状態で四七名が乗車、車中「久しぶりの会話がはずんでいました。

高野山の宿坊到着後、根本大塔金堂などの散策や奥の院参道の見学にそれぞれ出かけました。その後、大師教会で金剛峯寺教学部のお坊さんから「高野山の話」を聞き、「阿字観(真言宗の瞑想)」の入り口になる呼吸が教授されました。

一日だけの出席者もいることから夕刻早い時刻より本会二次会が催され、東京や九州からの友も迎えてにぎやかな声と笑いに包まれ、宿坊であっても話に花が咲きました。

聖草朝、山上の肌寒さをおぼえながら勸行に参列し、声明に耳を傾けました。

朝食前、戸外に出て運良くこの会と重なった「金環日食」観察、多少雲はあるものの世紀の天体ショーに、日食グラスを貸し借りしながら歓声が上がりました。

二日目のメイン行事は、森林セラピーです。これは金剛峯寺が始めた行事で、杉木立の奥の院参道から続く寺領の山小屋の広場までの森をゆくりと散策し、青空の下、精選料理の弁当を味わって、ハンモックでの昼寝や草地に座しての軽い瞑想で新緑溢れる森を耳や肌で感じる、非日常の世界でした。

その後、宿坊に戻って来年の再会を約しながら解散、下山の途につきました。

古稀記念学年同窓会の報告

昭和(三十五年)卒

「元気で来ました七十年」という合言葉のもとに、五月十七日・十八日、二期生百七名が、伊豆で古稀記念同窓会を開催しました。

一日目は、下田駅に集合。観光バス三台を連ね、開園の舞台となった下田の「了仙寺」、伊豆の最南端「石廊崎」を巡りました。下田のホテルの温泉で疲れを取った後、意欲的に太平洋が見渡せる宴会場で懇親会を開催。古稀のお祝いの乾杯をした後、高校時代の写真が大変スクリーンに写し出され、五十年前の自分の姿を見つけ出した人から大きな歓声があがりました。続く二次会にも大半の人が参加し、夜遅くまで盛り上がりました。

二日目は、朝、観光バスでホテルを出発。天城峠を越えて、歌で有名になった「浄蓮の滝」、由緒ある「修禪寺」、広大な「中伊豆ワイナリー」、駿河湾と富士山を望む「葛城山」、江戸時代の代官屋敷「江川邸」を巡りました。天候にも恵まれ、伊豆の自然と歴史を満喫することができました。思い出を胸

に、再会を約束して、三馬駅で東西に分かれました。

文責 古稀記念同窓会幹事 柿本 寿明

還暦同窓会を開催します

昭和(四十六年)卒

今年是我が学年の大半の人が還暦を迎えます。まだまだ若いという気持ちはありますが、来るものは拒めません。そこで「いよいよ自由人」をメインテーマに、にぎやかに色々話そうではありませんか。平成十九年にヒルトンでやつて以来です。今までの常連はもちろん、参加したことがない人こそ、この際、おつこうがらずに是非参加してください。これから先のバラ色(?)の交友が待っていること請け合いです。目標二百人！詳細は後日お送りします。

日時：十月二十八日(日)午後9時～12時半
場所：ANAクラウンプラザホテル大阪
大阪市北区堂島浜二一三
TEL 06-6347-1112

内容：ミニコンサート
同期によるピアノ・バイオリン・シャンソン等(人材は豊富です)

在学当時の流行曲DJ等
参加費：二万円(ワンコインカンパ)
応じてくれた人にはお土産有り

連絡先：高田 望
ana27701@kph.biglobe.ne.jp
ana2770150208@ezweb.ne.jp

文責 大鏡治 和美

学年同窓会のご案内

昭和(四十九年)卒

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

四年に一度のオリンピックの年に行われる学年同窓会、今回は下記の要領にて開催されますので、皆さまにご予定下さい。ご案内は八月下旬に発送いたします。五十歳代最後の

学年同窓会となります。皆さま奮ってご参加下さい。

日時：平成二十四年十一月三日(土祝)

十二時～十四時(受付十時三十分)

場所：ハイアットリージェンシー大阪 グレストクス

会費：二二,〇〇〇円

コメント：プロによるピアノ演奏(同窓生の娘

さん)、ゲーム、2次会……

文責 田中 宏幸

夏のオリンピックイヤーといえは……

昭和五十七卒学年会です

昭和(五十七年)卒

今年には四年に一度の夏のオリンピックの年ですが、恒例の学年同窓会開催の年でもあります。今年には卒業三十周年として左記の通り開催致しますので、是非ご参加下さい。

日時：平成二十四年十一月三日(土祝)
午後二時から
場所：アサヒスーパードライ梅田
(06-6331-2889)

詳細は後日往復はがきでお知らせします。予定の確保と、身近な同期生へのお知らせを是非よろしくお願いいたします。

前回の同窓会も恩師の先生方を始め、多くの皆様が参加してくれました。卒業して三十年、過ぎ去った年を省みて新たに來るべき年に思いを馳せてみませんか？

昭和五十七卒は、フェイスブックでグループを作って近況報告等をしています。来年会催されます金剛会東京支部総会は、吉見卓君を中心としてその準備活動が発信されています。そちらもご利用下さい。

それでは皆様、再会できる日を楽しみにしております。

学年評議員 相間宏章・土肥優子



京都支部

京都支部では懇親会を年一回、春または秋の土日曜に開催しています。昨年は、七月十日(日)に京都国際ホテル(堀川二条城前)で七十名の参加を得て開催しました。当日は、祇園祭の山鉦の組み立てが始まる時と、真夏の大変暑い日でしたが、花園大学名誉教授の芳井敬郎先生の「祇園祭の本義」と題しての講演や高木知寿子さんのピアノ演奏を楽しんでいただきました。また高橋千夏(S4卒)さんが満百歳ということで、お祝いの花束を贈呈しました。今年には十月二十八日(日)を予定しています。場所は未定です。

当支部は年会費を頂いておりませんので、どなたでも参加して頂けます。案内状を必要とされる方は、遠慮なくお申し出下さい。

TEL FAX 075-981-1544
八幡市男山美桜一六
支部長 S28卒 藤原 啓助

近鉄支部

金剛会近鉄支部では毎年秋に総会、懇親会を開催しておりますが、今年には十月十四日(日)に昨年と同じ近鉄奈良線あやめ池駅前にある料亭「あやめ館」で開催を予定しております。

昨年の総会ではアメリカ事情に詳しい川本氏(S32卒)に「内部から見たアメリカ」と題する講演をしていただきましたが、今年には当支部役員の方とそのグループによる大正

琴の演奏をご披露する予定です。その場でご希望の方があれば体験演奏の指導等も計画しております。

また秋の奈良は散策によい処が多数ございます。ご希望があればお聞きのと、我々で奈良公園等の案内もいたします。是非多数の方の出席をお待ちしております。

長年支部長を務めて戴いた高橋仁志氏が昨年退任され、新メンバーとなったため、何かと不慣れな点があるかと思いますが、諸先輩の伝統を引き継ぎ努力していく所存です。で、よろしくお願ひ申し上げます。

なお初めて出席ご希望の方は当支部宛ご連絡ください。案内状をお送りします。

〒六三二〇〇二六
奈良市学園緑ヶ丘二二二八
TEL&FAX 074214418089

支部長 S32卒 織田 正利

阪神支部

○総会の報告

今年の支部総会は四月八日(日)に宝塚ホテルで開催しました。同期会と違っているんな世代の先輩方と交流を深められるのが大きな楽しみでした。

講師は当支部の丹谷支部長が務め、四季折々に撮影した花の写真を披露しました。ご出席の方々にはお好きな花の写真をプリントして、後日、お送りしました。

栗山校長先生がご挨拶や談話の際に話される母校の現状にも「同興味津々、校長先生を質問攻めにしてみました。スパーサイエンスハイスクール、グローバルリーダーズハイスクールに選ばれる等、母校の発展はとて素晴らしいものです。

ただ、遅刻する生徒が多いので対策を講じて遅刻の件数を減少させた、という話は意外でした。我々の時代は体調不良以外に遅刻する生徒はまずいなかったので。私の学年S32卒は敗戦の年に小学校に入学、親や先生方は生活荒廃した大阪の街の復興、子供の教育に必死でした。そんな大人達の背中を見て

育った世代と今の世に育った生徒との違いが興味深く、時々思い出してはあれこれ考えています。

○阪神支部からのお願ひ

当支部は例年桜の頃に総会を開催しています。大阪市内にお住まいの方、他支部の方も是非ご参加下さい。

当支部へのご連絡、お問い合わせは左記にお願いします。

支部長 S27卒 升谷 博
TEL&FAX 078141316647

S32卒 真辺 和子
TEL&FAX 07981510017

南海支部

① 懇親会

本年度は、四月二十二日(日)に、NHKの朝ドラ「カーネーション」の撮影現場にもなった、岸和田五風荘にて開催されました。昭和十二年卒業の大先輩から若手会員まで幅広くご参加いただきました。

今回は、岩手県の大槌町で東北大地震の復興支援のボランティアに長期行ってこられた小川信夫氏(S37卒)に、現地の実情等について熱くお話いただきました。

懐石料理に舌鼓を打ちながら、和氣あいの雰囲気の中、ビンゴゲームで選考しをしていただいた結果、皆さま様々な賞品をゲットしていかれました。

非日常の楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

② 法廷傍聴会

五月十七日(木)に、西天満にある大阪地方裁判所において、恒例の法廷傍聴会が開催されました。皆さま裁判員になつたつもりで、真剣に刑事裁判を傍聴されていました。

③ 南海支部ニュースの発行

今年度で南海支部ニュースが第十三号になりました。さらに一層充実した内容にしたいと、皆さまからの投稿をこしこしお寄せ下さるようお願いいたします。

④ 入会受付中

南海支部では、金蘭会員の方でしたら、ご住所がどこであつてもご参加いただいております。少し試しに見てみようかなと思われ方は、お気軽に声をおかけいただければと思います。大歓迎です。

(事務局)千五五六〇〇二
大阪市浪速区難波中3丁目5番4号

TEL 06-6630-3005
FAX 06-6630-3015

支部長 S49卒 田中 宏幸

東京支部

東京支部は東日本在住約二六八〇余名の会員を有し、毎年七月に支部総会と懇親会を開催しています。五十歳を迎える学年が当番幹事を務める慣わしで、昨年は七月十日に昭和五十五年卒の皆さまの運営により、新宿のホテルハイアットトリージェンシー東京にて開催、来賓に安橋金蘭会会長、栗山母校校長先生をお迎えしました。東日本大地震の影響、猛暑、節電という厳しい状況でしたが、百歳の大先輩から二十歳の大学生まで約九〇名が出席、あらためて同窓の絆を強めました。イベントではデジタルアーティスト季里さん(S55卒)のユーモア溢れるお話とスクリーンに広がる鮮やかなCG映像に大いに盛り上がりました。

今年の第八十八回総会懇親会は七月二日(日)にサプリンスパークタワー東京で開催の予定です。東京支部外の卒業生も参加歓迎です。また、四月発行の支部会報「金蘭会」のNo.19では震災被災地在住の会員、ボランティア経験者から寄稿いただいています。総会のご案内、会報ともに東京支部のホームページでご覧いただけますので是非アクセスしてください。また進学、就職、転居、単身赴任等、新規登録をお待ちしています。

<http://www.tokyo.tnrc.jp/keinan/>
東京支部総務担当 榎垣 恭子

阪急支部

新支部長に森延哉氏

阪急支部長の丹羽権平氏が今年の新年会の後、支部長を辞任され、新支部長に森延哉副支部長が選任されました。昭和二十三年(一九四八年)に誕生し、今年で六十四年になる阪急支部の、初めの三十年を樋口種代さんが、その後の三十四年間を丹羽氏が支部長を務められ、阪急支部が和やかな中に活発な活動をしてこれたのも、お二人の支部長のリーダーシップがあつたことと感謝しています。ありがとうございます。

新支部長の森氏は大手前昭和三十年卒。母校の国語科の先生もされた方で、支部会員の中にも教え子の方が大勢おられます。新支部長のもと、阪急支部の新たな歴史を拓いていきたいと思っております。

昨年の総会
平成二十三年九月十七日 ホテルアイボリーにて
ゲストは京大卒の異色の若手落語家、桂福丸さん。福丸さんの落語の新鮮さがとても好評でした。

今年の新年会
平成二十四年二月十日 ホテルアイボリーにて
ゲストは歌謡復活術ショーの笑福門きたるさん。人形との軽妙なやりとりが皆様大笑いでした。

今年の総会(懇親会)
九月十六日(日)土時三十分より ホテルアイボリーで開催します。

ゲストは昭和三十四年卒の建築家樋口文彦氏。「お茶室について」というテーマで講演していただきます。お誘い合わせてのご参加をお願いいたします。

阪急支部日より
見て読んで楽しく、をモットーに今年の阪急支部だよりは八月初めにお届けする予定です。支部会員の皆様お楽しみに。
S37卒 奥本 登

会員からのお便り

☆桐 誠 会(サッカー部OB会)

第十回総会(OB戦・親睦会)のお知らせ

平素は桐誠会の運営に対し、心温まるご支援を賜り有り難うございます。



平成二十三年十一月十三日(日)、一年ぶりに会場を母校に戻し、第九回OB戦を行いました(写真)。

例年と同様、十代の現役選手から七十代のOB・OGまで百名以上の参加をい

たたくとともに、荒井・中西両顧問のご協力を得て、試合裡に終わりました。夕刻より金蘭会ホールで総会を開き、その際、現役チームにドクターバッグ等を贈呈しました。その後の親睦会においても、世代を超えた交流がなされ、大いに盛り上がりました。

さて、今年度の第十回総会・OB戦、

親睦会は、十一月十八日(日)、母校で開催する予定です。九月頃に改めて詳細のご案内を差し上げますが、できるだけ多くの方が参加されますことを願っております。桐誠会のブログ(「蹴る蹴るボール」<http://otensei-tsuikyukai.cocolog.cyber.jp/>)にも掲載しますので一度アクセスしてみてください。

また、月例の練習会も、五月で第五十五回目を迎えました。毎回、十代から七十代まで、およそ二十〜三十人が参加され、それぞれ自分のペースで楽しんでます。基本的には電子メールでご案内していますが、右記のブログでも確認できます。奮ってご参加ください。

なお、今年度(平成二十三年十一月から平成二十四年十月)の会費(三千元)をまだ納入されていない方は、是非とも納入して下さいますようお願いいたします。また、賛助金(二千元、何口でも可)も併せてお願いします。(振込口座は、郵便振替口座番号00920121245834、桐誠会)となっております。

今後とも、後輩たちの支援と親睦会の発展のため、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

※ご自身ならびに「同輩」などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。
〒五六五〇八七四

吹田市古江台五―三―三三三三〇八
TEL&FAX 06-6882-1198
メールアドレス nogu13@ot.sanet.ne.jp
野口 幸一(S54卒)



金蘭会推奨クルーズのお薦め

「にっぽん丸」島めぐりクルーズ

in 瀬戸内海

昨年実施しました金蘭会120周年記念クルーズのアンケートで、次回は5年先と言わず来年も…という多くのご要望に応じて、下記のとおり本年秋に推奨クルーズという形で実施することになりました。

詳しくは、同封のチラシをご覧になって資料請求をしてください。ご参加をお待ちしております。

・11月29日(木)～12月4日(火) (Aコース)
神戸→直島→宮島→門司→小豆島→神戸

・11月29日(木)～12月2日(日) (Bコース)
神戸→直島→宮島→門司



金蘭会ホームページにアクセスを!

「WEB金蘭会」 <http://kinran.jp>

「今月のPhoto」「金蘭会ここに人あり」「大手前の今・昔」など多彩なメニュー

「SPRING」1号から最新号までをUP!
校歌の蓋メロもダウンロードできます!

質問・相談・意見・提案等の受付
住所等会員情報変更届
会合案内掲載依頼(学年会、支部、クラブOB会等)
今月のPhoto投稿

などは TOPページ左側
「事務局への問い合わせ」からアクセスしてください。

編集後記

一年経つても、なかなか復旧が進まない東日本大震災。かたや営業開始に沸く東京スカイツリー。対照的な光景ですが、一日も早い復興を祈ります。

昨年は、金蘭会創立百二十周年の年でした。記念行事が成功裡に終わり、深く感謝です。そんな中二期目に入った安橋会長体制、副会長職を退かれた米田・上川の両氏には多大な感謝の意を表します。今後も理事としてよろしくお願いいたします。

(大)

